原発をなくす全国連絡会
原発立地県交流集会

福島第一原発事故の発生から４年と４ヶ月が経ちました。しかし、いまだに福島県では約１１万人を超える人たちがふるさとを奪われ、避難生活を余儀なくされています。復興住宅の建設はほとんど進まず、劣悪な仮設住宅での避難生活が長引いています。

それなのに、安倍政権は各地の原発再稼働を進めようとしています。九州電力は７月１０日に川内（せんだい）原発１号機の原子炉に核燃料を装填する作業を完了し、８月中旬の再稼働を狙っています。被災者の救済も被災地の復興・復旧も進んでいないのに、再稼働をすすめる政府の方針は認めるわけにはいきません。

そこで、原発をなくす全国連絡会は、原発立地県や周辺自治体などの運動を交流し、原発再稼働阻止、原発ゼロをめざす運動を発展させるために「原発立地県交流集会」を下記の内容で初めて開催することといたしました。ぜひ積極的な参加をお願いします。

☆日時：９月２７日（日）10:00～16:00

☆会場：東京労働会館7F「ラパスホール」

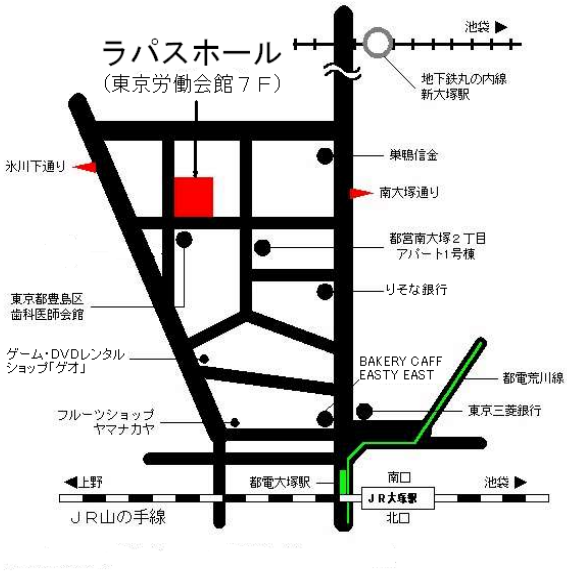
豊島区南大塚２丁目 33－10　☎03－5395－3171
<アクセス> ＪＲ山手線「大塚駅（南口）」下車、徒歩８分
地下鉄丸ノ内線「新大塚駅」下車、徒歩７分

☆参加費：５００円（会場費・資料代など）

☆参加対象：原発立地県・市町村およびその周辺自治体で原発再稼働阻止・原発ゼロの運動をすすめている団体

◇プログラム◇

- ○基調報告
- ○原発立地県からの報告
- ○記念講演「原発立地自治体の運動と課題」
  （仮題）　河合弘之弁護士
- ○学習講演「原発周辺自治体のとりくみ」（仮題）　湖西市長　三上元氏
- ○討論と運動交流



主催：原発をなくす全国連絡会

連絡先：全日本民主医療機関連合会　TEL：03-5842-6451　担当：稲原、木下興